

2in1 シリーズ向け パソコン選定 + 高速な構成例

01 推奨スペックと 必須ソフトウェア

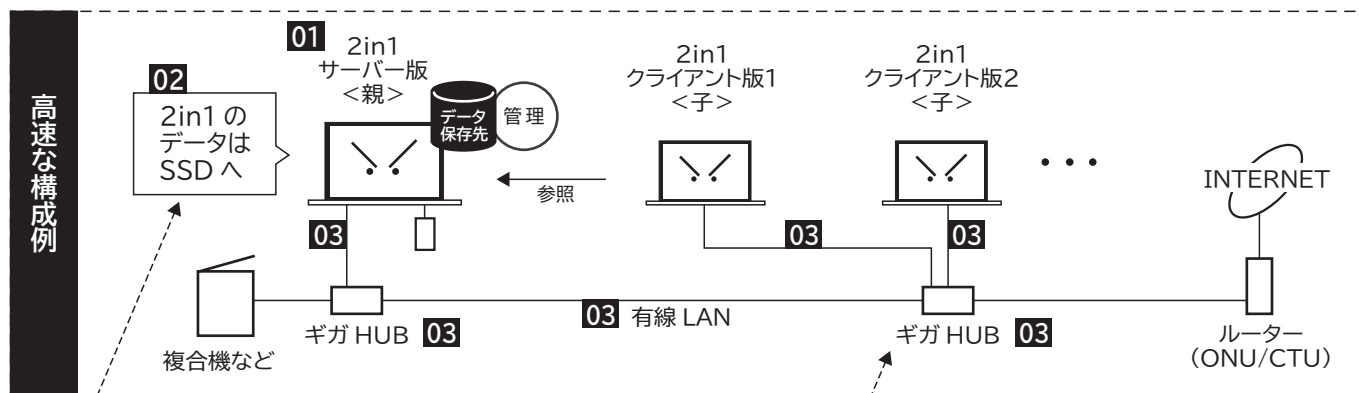


快適にご利用いただくために SSD 搭載PCと有線 LAN の準備をお願いします。※NAS は低速なため非推奨とさせていただきます。

2in1 のライセンス数 (LC) ▶ スタンドアロン～ネットワーク 14LC 程度の規模で利用するサーバーおよびクライアント PC
(例：不動産5、請求2の場合は5)

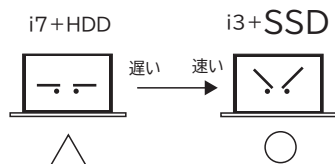
15LC 以上はデータ保存用に別途WindowsServerが必要
※Win10/11 の共有制限が 20 のため (2in1の制限ではありません)

		Windows10/11	WindowsServer2019/2022
①	CPU	Core i3-10100 以上 ※AMDは Ryzen3-3200 以上	Xeon E-2314 以上 ※Storage は Core i3-10100以上
②	メモリ	8GB 以上 ※4GBでは不足	16GB 以上 ※Storage は 8GB以上
③	ディスク (内蔵記憶装置)	SSD 必須 256GB 以上 ※ WindowsServerもSSD必須★	※ 空き容量50GB以上 ※ 土地家屋調査士版は80GB以上推奨
④	バックアップディスク (外部記憶装置)	1TB 以上	※ USB ポータブル推奨 ※ Windows バックアップ利用時は2TB以上を推奨
⑩	Microsoft Office ※ 永続 / サブスク何れか必須	永続版 2016 Personal 以上 サブスク版 365 Personal 以上	※ファイルサーバーで運用する PC は不要
⑪	Adobe Acrobat ※Readerではなく有償版 電子定款や調査報告書 などのPDF署名で利用	永続版 Standard 2020 サブスク版 Standard DC	※ファイルサーバーで運用する PC は不要



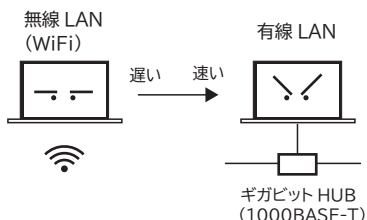
02 2in1 のデータは SSD に保存

Core i7+HDD より
Core i3+SSD の方が高速



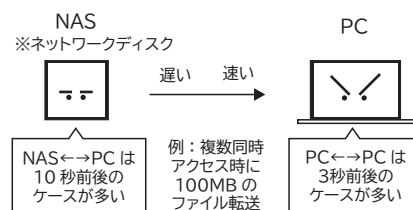
03 有線 LAN + ギガビット HUB (ハブ)

無線 LAN は有線 LAN へ
10/100 HUB はギガ HUB に交換



04 NAS が低速な場合 PC に保存先を変更

特に複数同時アクセス時、
NAS は PC より低速になる



Point 初期設定のポイント ※ ローカルACやPC名変更など

P01：初回起動時にローカルアカウント (例：user) を作成
箱出し直後に LAN ケーブルを「接続せず」左下の「オフラインアカウント」
「制限付きアカウント」からすすめます。必ずPWを控えて下さい。

P02：わかりやすいようにPC名を「設置直後」に変更
「DESKTOP-XXXXXX」より「sv」など単純かつ明確な名称をお勧めします。但し「共有フォルダ 設定済」のPC名を変更すると
複合機側の「スキャン to PC」機能や 2in1 が起動できなくなります。

P03：バックアップの設定
USB接続のHDDや SSD、NASなど空き容量100GB以上を目安にご用意ください。モバイル PC は超小型 USB メモリ、SD カードでも構いません (但し低速)
空き容量が1TB以上の場合、PC を丸ごとバックアップも可能です。